

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月29日

上場会社名 日本システムウエア株式会社
 コード番号 9739 URL <http://www.nsw.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (氏名) 取締役社長

(氏名) 多田 尚二

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 桑原 公生

TEL 03-3770-1111

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	23,485	—	540	—	484	—	426	—
20年3月期第3四半期	24,671	6.9	898	—	862	—	729	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	28.62	—
20年3月期第3四半期	48.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	22,820	11,744	51.3	786.04
20年3月期	23,518	11,582	49.1	774.86

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 11,711百万円 20年3月期 11,545百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
21年3月期	—	7.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,700	△5.6	1,150	△11.5	1,050	△16.7	750	△40.2	50.34

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 14,900,000株 20年3月期 14,900,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 127株 20年3月期 127株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 14,899,873株 20年3月期第3四半期 14,899,878株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値が異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注記事項等につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国に端を発した世界規模での金融危機と不況の進行、さらには円高による輸出の落ち込みなどの影響を受けて企業収益が大幅に減少しました。これに伴い企業の設備投資抑制や業務縮小がより顕著となり、雇用情勢の厳しさが深刻化したことなどにより、国内景気は急速に悪化しました。今後の見通しにつきましては、世界的な不況のさらなる深刻化、株式・為替市場の大幅な変動、製造業を中心とした大幅な雇用調整などが懸念され、当面は景気の後退が続くものと予想されます。

情報サービス産業界におきましては、国内景気の急速な悪化に伴い、顧客企業のIT投資抑制傾向が鮮明となり、需要が大幅に落ち込みました。今後の見通しにつきましては、当業界の主要取引先である製造業、金融・保険業の需要がさらに落ち込むことが予想されます。一方、コンサルティングやシステムインテグレーション、アウトソーシングなど、顧客企業の経営環境が厳しい時だからこそ従来以上に必要とされるサービスもあり、堅調な分野を見極めることがより重要になるものと思われま

す。このような状況下、当社グループは、マーケットへの柔軟な対応と営業体制の強化を目的とした組織再編、将来的なアウトソーシングサービスの需要を想定したデータセンターの増床、プロジェクトの品質・コスト・納期管理の徹底による利益向上など、より堅実な経営基盤の確立に向けた施策にグループ一丸となって取り組みました。

売上高につきましては、国内景気の急速な悪化に伴い新規案件の獲得は苦戦を強いられたものの、既に受注済みの案件を確実に遂行した結果、概ね計画通りに推移しました。経常利益につきましては、業務効率化による販売費および一般管理費の抑制を継続するとともに、需要の減少に伴う稼働率の低下や受注単価の下落などの問題に対策を講じたものの、その一方で不採算・低採算案件が発生した結果、計画を下回りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、受注高は224億27百万円、売上高は234億85百万円、経常利益は4億84百万円、四半期純利益は4億26百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の部門別概況は、次のとおりであります。

< ITソリューション >

国内景気の悪化に伴い、卸売・小売業向けの需要が大きく落ち込み、金融業向けの需要も伸び悩みましたが、情報通信業や製造業向けの需要が底堅く推移したことにより、計画を上回り、受注高は130億65百万円、売上高は133億54百万円となりました。

< プロダクト >

システムLSI設計やファームウェア開発の需要は底堅く推移しましたが、組込系システム開発におけるカーエレクトロニクス関連の需要が減少したことにより、計画を若干下回り、受注高は84億9百万円、売上高は89億71百万円となりました。

< システム機器販売 >

金融業向けのパッケージ販売が前年度の旺盛な需要の反動により大幅に落ち込みました。また、特定の顧客向けに仕入れて第2四半期以前に受注計上した金融業向けパッケージの導入見送りにより、既に計上していた受注を取り消しました。これらの結果、計画を大幅に下回り、受注高は9億52百万円、売上高は11億60百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、228億20百万円となり、前連結会計年度末比6億98百万円の減少となりました。その主な要因は、仕掛品の増加（10億46百万円）、固定資産の増加（7億60百万円）などがあつたものの、現金及び預金の減少（3億56百万円）、売上債権の減少（20億57百万円）などがあつたことによるものであります。

総負債は、110億75百万円となり、前連結会計年度末比8億59百万円の減少となりました。主な要因は、リース債務の増加（5億92百万円）があつたものの、借入金の減少（6億90百万円）、仕入債務の減少（6億34百万円）などがあつたことによるものであります。正味運転資本（流動資産から流動負債を控除した金額）は30億83百万円であり、流動比率は前連結会計年度末と比べ8.6ポイント減少し、136.7%となりました。

純資産は、117億44百万円となり、前連結会計年度末比1億61百万円の増加となりました。自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.2ポイント増加し、51.3%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、国内景気の悪化の影響を受けて厳しい水準で推移しましたが、平成20年10月30日に発表した通期業績予想にはそのような状況を織り込み済みであるため、業績予想の修正はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- ① 当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を行わず、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。
- ② 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① イ 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ロ 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ299,098千円減少しております。
- ② 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）および「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から早期適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。
また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。
この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は、軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,323,240	2,680,118
受取手形及び売掛金	5,606,034	7,663,282
商品	292,510	451,836
仕掛品	2,065,660	1,019,521
貯蔵品	4,532	6,398
繰延税金資産	720,906	893,621
その他	539,848	302,139
貸倒引当金	△60,379	△65,665
流動資産合計	11,492,353	12,951,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,050,683	3,956,182
土地	4,114,051	4,114,051
リース資産(純額)	340,697	—
その他(純額)	189,581	176,081
有形固定資産合計	8,695,014	8,246,315
無形固定資産		
ソフトウェア	151,586	183,289
リース資産	212,666	—
その他	138,823	139,281
無形固定資産合計	503,076	322,570
投資その他の資産		
投資有価証券	291,571	327,135
敷金及び保証金	763,972	768,033
繰延税金資産	645,967	473,207
その他	862,751	862,735
貸倒引当金	△434,627	△433,154
投資その他の資産合計	2,129,635	1,997,956
固定資産合計	11,327,727	10,566,842
資産合計	22,820,080	23,518,094

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,985,672	2,619,749
短期借入金	3,600,000	4,200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,020,000	120,000
リース債務	97,345	—
未払法人税等	49,921	96,312
賞与引当金	410,933	840,640
その他	1,244,732	1,037,262
流動負債合計	8,408,605	8,913,965
固定負債		
長期借入金	990,000	1,980,000
リース債務	494,844	—
退職給付引当金	816,853	709,963
役員退職慰労引当金	329,973	331,402
その他	35,283	—
固定負債合計	2,666,955	3,021,366
負債合計	11,075,560	11,935,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,538,300	2,538,300
資本剰余金	3,047,780	3,047,780
利益剰余金	6,124,729	5,939,985
自己株式	△86	△86
株主資本合計	11,710,722	11,525,978
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,155	14,415
繰延ヘッジ損益	—	4,943
評価・換算差額等合計	1,155	19,359
少数株主持分	32,641	37,424
純資産合計	11,744,520	11,582,762
負債純資産合計	22,820,080	23,518,094

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	23,485,680
売上原価	20,022,487
売上総利益	3,463,192
販売費及び一般管理費	
役員報酬	122,105
執行役員報酬	45,213
給料手当及び賞与	1,408,921
賞与引当金繰入額	35,733
退職給付費用	93,543
福利厚生費	190,765
通信交通費	143,608
業務委託費	151,538
賃借料	180,624
その他	550,657
販売費及び一般管理費合計	2,922,712
営業利益	540,479
営業外収益	
受取利息	215
受取配当金	871
負ののれん償却額	2,613
保険配当金	10,813
受取手数料	7,261
その他	9,914
営業外収益合計	31,688
営業外費用	
支払利息	85,362
持分法による投資損失	1,099
その他	940
営業外費用合計	87,401
経常利益	484,766
特別利益	
貸倒引当金戻入額	3,813
持分変動利益	16,071
特別利益合計	19,884
特別損失	
固定資産除却損	3,463
投資有価証券評価損	4,811
特別損失合計	8,274
税金等調整前四半期純利益	496,376
法人税、住民税及び事業税	58,430
法人税等調整額	9,051
法人税等合計	67,481
少数株主利益	2,530
四半期純利益	426,364

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
売上高	7,177,009
売上原価	6,231,151
売上総利益	945,857
販売費及び一般管理費	
役員報酬	42,951
執行役員報酬	12,660
給料手当及び賞与	448,330
賞与引当金繰入額	35,733
退職給付費用	32,622
福利厚生費	67,939
通信交通費	43,338
業務委託費	43,562
賃借料	58,529
貸倒引当金繰入額	1,695
その他	175,998
販売費及び一般管理費合計	963,362
営業損失(△)	△17,504
営業外収益	
受取配当金	250
保険配当金	9,799
受取手数料	2,474
その他	2,948
営業外収益合計	15,472
営業外費用	
支払利息	28,533
持分法による投資損失	7,168
その他	418
営業外費用合計	36,120
経常損失(△)	△38,152
特別利益	
持分変動利益	14,136
特別利益合計	14,136
特別損失	
固定資産除却損	84
投資有価証券評価損	4,811
特別損失合計	4,896
税金等調整前四半期純損失(△)	△28,912
法人税、住民税及び事業税	8,170
法人税等調整額	△10,355
法人税等合計	△2,185
少数株主損失(△)	△402
四半期純損失(△)	△26,323

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	496,376
減価償却費	361,920
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,813
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△429,707
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	106,889
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,429
受取利息及び受取配当金	△1,086
支払利息	85,362
持分法による投資損益 (△は益)	1,099
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,811
売上債権の増減額 (△は増加)	2,100,912
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,068,363
仕入債務の増減額 (△は減少)	△634,077
その他	△3,455
小計	1,015,439
利息及び配当金の受取額	1,086
利息の支払額	△81,997
法人税等の支払額	△126,861
営業活動によるキャッシュ・フロー	807,666
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△371,580
無形固定資産の取得による支出	△79,163
その他	△11,327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△462,071
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△600,000
長期借入金の返済による支出	△90,000
セール・アンド・リースバックによる収入	220,000
配当金の支払額	△188,559
その他	△43,913
財務活動によるキャッシュ・フロー	△702,473
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△356,878
現金及び現金同等物の期首残高	2,680,118
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,323,240

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期（累計）に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～12月31日）

(単位：千円、端数切捨て)

科 目	前四半期 平成20年3月期 第3四半期	
	金 額	百分比
		%
I 売上高	24,671,938	100.0
II 売上原価	20,634,474	83.6
売上総利益	4,037,463	16.4
III 販売費及び一般管理費	3,139,073	12.7
営業利益	898,390	3.7
IV 営業外収益	42,860	0.2
V 営業外費用	79,052	0.4
経常利益	862,198	3.5
VI 特別利益	21,763	0.1
VII 特別損失	96,105	0.4
税金等調整前四半期純利益	787,856	3.2
法人税、住民税及び事業税	34,067	0.1
法人税等調整額	19,354	0.1
少数株主利益	4,998	0.0
四半期純利益	729,436	3.0

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

(単位:千円、端数切捨て)

区 分	前四半期 平成20年3月期 第3四半期
	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1. 税金等調整前四半期純利益	787,856
2. 減価償却費	324,017
3. 投資有価証券評価損	59,999
4. 売上債権の減少額	2,642,620
5. たな卸資産の増加額	△421,231
6. 仕入債務の減少額	△909,017
7. その他	△776,315
小 計	1,707,930
8. 法人税等の支払額	△129,611
9. その他	△54,893
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,523,426
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1. 有形固定資産の取得による支出	△416,737
2. その他	△20,035
投資活動によるキャッシュ・フロー	△436,773
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1. 短期借入金純増加額	1,700,000
2. 長期借入金による収入	900,000
3. 長期借入金の返済による支出	△3,310,000
4. セール・アンド・リースバックによる収入	127,122
5. 配当金の支払額	△188,988
6. 自己株式の取得による支出	△21
7. 少数株主への配当金の支払額	△2,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△773,887
IV 現金及び現金同等物の増減額	312,764
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,888,891
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,201,655

6. その他の情報

(1) 売上高及び受注の状況 (連結)

① 売上高

イ 第3四半期連結累計期間

区分	前第3四半期連結累計期間 自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日		対前年 同期比	前連結会計年度 自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)		売上高(千円)	構成比(%)
ITソリューション	13,713,250	55.6%	13,354,283	56.9%	—	19,249,851	55.5%
プロダクト	9,368,627	38.0%	8,971,369	38.2%	—	13,160,306	38.0%
小計	23,081,877	93.6%	22,325,652	95.1%	—	32,410,158	93.5%
システム機器販売	1,590,060	6.4%	1,160,027	4.9%	—	2,236,233	6.5%
合計	24,671,938	100.0%	23,485,680	100.0%	—	34,646,392	100.0%

ロ 第1四半期連結会計期間

区分	前第1四半期連結会計期間 自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日		当第1四半期連結会計期間 自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日		対前年 同期比
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)	
ITソリューション	3,978,624	55.1%	4,107,862	56.0%	—
プロダクト	2,761,557	38.2%	2,784,336	37.9%	—
小計	6,740,181	93.3%	6,892,198	93.9%	—
システム機器販売	485,043	6.7%	447,559	6.1%	—
合計	7,225,225	100.0%	7,339,758	100.0%	—

ハ 第2四半期連結会計期間

区分	前第2四半期連結会計期間 自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日		当第2四半期連結会計期間 自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日		対前年 同期比
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)	
ITソリューション	—	—	4,972,435	55.4%	—
プロダクト	—	—	3,335,402	37.2%	—
小計	—	—	8,307,838	92.6%	—
システム機器販売	—	—	661,074	7.4%	—
合計	—	—	8,968,913	100.0%	—

ニ 第3四半期連結会計期間

区分	前第3四半期連結会計期間 自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日		当第3四半期連結会計期間 自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日		対前年 同期比
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)	
ITソリューション	—	—	4,273,984	59.6%	—
プロダクト	—	—	2,851,630	39.7%	—
小計	—	—	7,125,615	99.3%	—
システム機器販売	—	—	51,393	0.7%	—
合計	—	—	7,177,009	100.0%	—

② 受注高

イ 第3四半期連結累計期間

区分	前第3四半期連結累計期間 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年12月31日		対前年 同期比	前連結会計年度 自平成19年4月1日 至平成20年3月31日	
	受注高(千円)	構成比(%)	受注高(千円)	構成比(%)		受注高(千円)	構成比(%)
ITソリューション	12,419,052	55.6%	13,065,319	58.3%	—	18,283,397	55.6%
プロダクト	8,130,565	36.4%	8,409,580	37.5%	—	12,020,083	36.6%
小計	20,549,617	92.0%	21,474,899	95.8%	—	30,303,481	92.2%
システム機器販売	1,794,725	8.0%	952,437	4.2%	—	2,569,830	7.8%
合計	22,344,342	100.0%	22,427,336	100.0%	—	32,873,312	100.0%

ロ 第1四半期連結会計期間

区分	前第1四半期連結会計期間 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日		当第1四半期連結会計期間 自平成20年4月1日 至平成20年6月30日		対前年 同期比
	受注高(千円)	構成比(%)	受注高(千円)	構成比(%)	
ITソリューション	3,936,470	63.3%	4,271,999	58.8%	—
プロダクト	1,656,718	26.7%	2,446,018	33.7%	—
小計	5,593,189	90.0%	6,718,017	92.5%	—
システム機器販売	620,205	10.0%	547,542	7.5%	—
合計	6,213,394	100.0%	7,265,560	100.0%	—

ハ 第2四半期連結会計期間

区分	前第2四半期連結会計期間 自平成19年7月1日 至平成19年9月30日		当第2四半期連結会計期間 自平成20年7月1日 至平成20年9月30日		対前年 同期比
	受注高(千円)	構成比(%)	受注高(千円)	構成比(%)	
ITソリューション	—	—	4,509,126	50.2%	—
プロダクト	—	—	3,986,082	44.3%	—
小計	—	—	8,495,209	94.5%	—
システム機器販売	—	—	492,379	5.5%	—
合計	—	—	8,987,588	100.0%	—

ニ 第3四半期連結会計期間

区分	前第3四半期連結会計期間 自平成19年10月1日 至平成19年12月31日		当第3四半期連結会計期間 自平成20年10月1日 至平成20年12月31日		対前年 同期比
	受注高(千円)	構成比(%)	受注高(千円)	構成比(%)	
ITソリューション	—	—	4,284,193	69.4%	—
プロダクト	—	—	1,977,478	32.0%	—
小計	—	—	6,261,672	101.4%	—
システム機器販売	—	—	△87,484	△1.4%	—
合計	—	—	6,174,187	100.0%	—

③ 受注残高

区分	前第3四半期 連結会計期間末 平成19年12月31日		当第3四半期 連結会計期間末 平成20年12月31日		対前年 同期比	前連結会計年度末 平成20年3月31日	
	受注残高(千円)	構成比(%)	受注残高(千円)	構成比(%)		受注残高(千円)	構成比(%)
ITソリューション	9,002,059	66.8%	9,040,839	69.7%	—	9,329,803	66.5%
プロダクト	3,608,016	26.8%	3,144,066	24.2%	—	3,705,855	26.4%
小計	12,610,075	93.6%	12,184,905	93.9%	—	13,035,659	92.9%
システム機器販売	865,739	6.4%	787,081	6.1%	—	994,671	7.1%
合計	13,475,815	100.0%	12,971,987	100.0%	—	14,030,331	100.0%